

平成23年4月15日

日本ボーイスカウト神奈川連盟
各地区 地区委員長 殿
各地区災害支援委員長殿

日本ボーイスカウト神奈川連盟
理事長代行 中川 玄一
災害支援委員長 加藤 博
〔公印省略〕

現地ボランティア活動について

このたびの東日本大震災に際し、日本連盟は被災地の支援のため宮城県に職員を派遣し、ボーイスカウト加盟員のボランティア活動支援の体制を築き、日本連盟ホームページにてボランティア募集を案内しております。

神奈川連盟は4月5日に臨時県連災害支援委員会を開催し、塩釜、石巻両ボランティアセンターの活動について協議して、現地ボランティア活動の始動を決定いたしました。

各地区にこの案内を配信する前に、南央地区鈴木災害支援委員長が、10日より1週間鯛焼きプロジェクトで石巻ボランティアセンターにつめて活動することから、現地の情報を得て、この情報を添えて現地ボランティア活動の案内を配信する次第です。

ボランティア活動に参加される方は、日本連盟のホームページを必ずお読みいただき、ホームページの情報を参考に活動されるようお願いいたします。

なお 日本連盟の案内の通り、現在のボランティア希望者は20歳以上の男女で、ベンチャー年代は今後の状況によって案内がされますのでそれまでお待ち下さい。

現地ボランティア活動拠点について

現在塩釜は活動拠点として終了し、石巻での活動を行っている。

石巻市災害ボランティアセンター（石巻専修大学5号館）

宮城県石巻市南境新水戸1番地

直接の問い合わせは出来ない状態です。

宿泊地

上記大学構内の大型テント（依って個人用テントは必要なし）

交通手段

鉄道、道路も回復しつつある。各自適切な手段を選んでください。車の選択可能であります。大学構内に駐車可。アクセスは石巻専修大学又は石巻ボランティアセンターで検索するとバスの運行まで分かります。

作業内容

津波による家屋内の泥のかき出し、荷物整理等、ニーズの変更により作業内容は変わります。

個人装備

日本連盟ホームページに準拠。現地はまだ寒さが厳しいので、防寒装備は欠かせない。

食事

日連案内にあるとおり一日三食分の米、副食を持参し、拠出してこれを自炊または日連職員が調理してくれる。

ライフライン

電気は通じているが、水道はまだ通じていない。普通の手洗いは出来ない。水は貴重。大学校舎内はストーブで暖は取れる。

ボランティア登録と申し込みの流れ（詳しくは日連ホームページ参照）

- ① 配信済のボランティア登録カードを団、地区、県連を經由し日連に提出。
- ② ボランティア可能な時期をメールにて日連に連絡。
- ③ 日連より本人、県連に派遣案内を連絡してくる。

保険について

ボランティアセンターにて個々に天災型Bタイプボランティア保険に加入してください。

保険料790円の領収証引き換えに神奈川県連で負担いたします。

ボランティア留意点

- ① ボランティアのマナーに心がけよう。
- ② 被災地の現状からボランティア後の心のケアが必要となる場合があります。
- ③ 余震が続いております。携帯ラジオが地震情報に役立ちます。

問い合わせ

ボランティアにあたり、分からないこと、現地の状況確認などお問い合わせは下記へ。

神奈川県連災害支援委員長 加藤 博

メールアドレス：h-kato68@nifty.com

以上